



# 石の門

## 読書は、「生きる上での自分の軸」

校長

4月後半、朝の時間に教育相談を実施しました。新しい環境の中で頑張っていることや心配なことなどを学級担任と話しています。その間、教室では朝読書をいつもより長く時間設定して行っています。どのクラスも集中して読書に取り組んでいました。折しも、4月23日（日）から5月12日（金）の期間は、2023・第65回「こどもの読書週間」が全国的に実施されています。本に親しみ、読書の楽しさや喜びを知り、読書の習慣を身に付けてもらうのがねらいです。と同時に大人にとっては、子どもの読書がいかに大切なことか、子どもがよい本に出会うためにどうしたらよいか考える機会でもあります。



公益社団法人 読書推進運動協議会によれば、家庭における読書環境の整備として重要なことは、「幼児には父母が読んで聞かせてあげる。」「子どもたちの身近にいつも本を置く。」「父母自らが本を読む姿を子どもに見せる。」だそうです。振り返ってみると、我が家の場合、子どもの読書習慣は専ら妻が担っていて、私は本に関する母子の会話についていけなかったと反省しています。



言うまでもなく多くの人が読書の魅力や大切さを感じています。今年1月、サッカー日本代表の田中碧選手が、読書の魅力をインタビューで語っているテレビ番組を見ました。

その番組で、幼い頃からサッカーとともに読書も日課にしてきた田中選手は、読書を「生きる上での自分の軸」と語り、「知識、人生観、いろいろなものが自分の頭に入ってくるのが新鮮で楽しい。本を読むことで、新しい自分を見つけられる。」と読書の楽しさを伝えていました。「日頃いろんなことをやる上でも、本を読むことでブレないメンタリティーが育まれる。結果、いろいろなものから逃げずに、ブレずに積み上げられる。読書が、夢に突き進む手助けになっているのは間違いない。」と精神面での効果も語っていました。田中選手の愛読書は、パナソニック（旧松下電器）の創業者・松下幸之助さんが自身の体験と人生訓をつづった名著「道をひらく」だそうです。「毎日寝る前に一つ読むようにしています。冷静になれるのと、ポジティブな気持ちになれるので。」と語ると、同著にある「百の事を行って、一つだけが成ったとしたら、これは果して失敗か成功か」という一文についての答えを問われ、田中選手は「僕は、成功ですね。自分でやるのが成功。成功か失敗かは正直、どちらでも良くて、それまでの過程をどれだけ本気でやり続けられるか。結果が出るまでやり続けるのが自分の成功の法則。全力で努力するのが成功への唯一の道だと思っています。」と信条を語っていました。

最近、私は『NASAより宇宙に近い町工場 僕らのロケットが飛んだ』という本を読みました。10年以上前に出版された本です。理系に苦手意識があっただけで、これまで読もうと思わなかったのですが、教室を回っていると1年生の技術の授業でテレビドラマ「下町ロケット」の話が聞こえてきて、タイトルに惹かれて読み始めました。すると、これはロケット開発の話というより、北海道にある従業員20名ほどの会社が自分たちだけの力でロケットや人工衛星をつくったという、夢を叶える話で、読んでいて勇気が湧いてきました。著者の植松努さんは、自分たちだけの力でロケットを飛ばすということをお金を稼ぐためでなく、「どうせ無理」という言葉をこの世からなくすための一つの手段として取り組んでいました。植松さんも本をよく読んでいたことや「成功するための秘訣は、成功するまでやること」という話など田中選手と通じるものがあると感じながら読みました。生徒の勉強や部活も「どうせ無理」ではなく「だったらこうしてみたら」と仲間と協力しながら努力し目標を叶えてほしい、そして自分もそういった人生にしたいと思いました。



## 授業参観・PTA総会 4月22日(土)

4月22日(土)は授業参観日でした。授業参観のあと、PTA総会、教育活動説明会、部活動保護者会を行いました。たくさんの保護者の皆様よりご来校いただきました。ありがとうございました。PTA総会は3年間、紙面決議となっていましたので、実に4年ぶりの開催でした。令和5年度の役員、活動計画、予算等が原案通り承認されました。ご来校いただけなかった方には、生徒を通じて資料を配付しておりますのでぜひご覧ください。今年度も今町中学校PTAの活動に多くの皆様からのご参加とご協力をお願いいたします。



【授業参観 2年1組】



【授業参観 1年1組】



【PTA総会】



【部活動保護者会 男子バスケ部】

## 5類感染症への移行後の学校における新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症が、5月8日付けで5類感染症に移行することとなります。文部科学省の通知から改めて要点をお知らせします。

- ・ 移行後においても家庭との連携による生徒の健康状態の把握、手洗い等の手指衛生や咳エチケット、適切な換気の励行といった対策は引き続き重要であるが、感染状況が落ち着いている平時においては、これ以外に特段の感染症対策は講じる必要はない。
- ・ これまでも示しているとおり、学校教育活動においては、マスクの着用を求めないことが基本となること、給食場面においては「黙食」は必要ないこと。
- ・ 地域や学校において感染が流行している場合などは、活動場面に応じて、一時的に必要な措置をとることが考えられること。

これを受け、これまでお願いしておりました、毎朝の検温の記録は一律には行わないこととしましたが、引き続きお子さんの健康管理については家庭と連携して行ってまいります。

## 令和5年度今町中学校 リーフレット

今年度の今町中学校のグランドデザイン、教育活動を示したリーフレットを昨日配付いたしました。4月22日の授業参観日の折の教育活動説明会資料と併せてご覧ください、今年度の取組をご理解いただければと思います。なお、地域の皆様には、後日、地域回覧にてのお知らせとなります。



**保護者の皆様へ**